



本校の勇者たち 215 名が、共通テストを受験！

1月18日(土)・19日(日)に行われた2025年度大学入学共通テストの結果がまとまってきました。本校生も、日大工学部と郡山女子大学を会場に、215名が受験に臨みました。現時点でのベネッセ・駿台、河合塾の集計によれば、6教科予想平均点は以下のように、前年度に比べ(前年度900点満点を1000点満点に換算)、文系・理系ともに大幅に平均点が上がっています。隔年現象という考え方からすれば、2025年度共通テストが易化したということは、2年生の皆さんにとっては、来年度、難化する可能性があるということです。今から発展問題にも耐える力を身につけておくことが大切です。また、各教科の平均点は、右表の通りです。

6教科8科目文系(1000点満点) ……620点(前年差+24)

6教科8科目理系(1000点満点) ……633点(前年差+12)

なお、新課程「数学ⅡBC」と旧課程「数学ⅡB」で平均点15点の差が出ていることから、得点調整が行われるかもしれないとの話もありましたが、24日、正式に実施しないことが決まりました。

得点調整とは、同一教科の科目間で問題の難易差による有利不利が生じないように平均点を基準に点差を是正するために行われ、新課程と旧課程の科目間も対象となります。基準は、①20点以上の平均点差が生じた場合、または②15点差以上の平均点差が生じ、かつ段階表示の区分点差が20点以上生じた場合に、試験問題の難易差に基づくものと認められれば得点調整が行われる。

		平均点	前年差
国語		126.13	+10.40
数	数学ⅠA	56.66	+2.31
	数学ⅡBC	56.69	—
英	リーディング	59.65	+6.37
	リスニング	62.91	-5.59
地・公	歴総・世史探究	68.35	—
	歴総・日史探究	59.11	—
	歴総・地理探究	59.68	—
	公共・政治経済	65.69	—
理	物理基礎	26.04	-4.87
	化学基礎	28.63	-2.80
	生物基礎	32.74	+0.03
	地学基礎	35.66	-0.10
	物理	60.93	-3.45
	化学	47.69	-9.17
	生物	54.04	-1.68
科	地学	43.61	-13.01
	情報Ⅰ	73.10	—

新課程初年度の今回の共通テストの特徴は…

(参考：河合塾HP)

- ① **新課程となり新たな教科「情報Ⅰ」が追加され**、5教科900点満点から6教科1000点満点に移行しました。「情報Ⅰ」の出題内容は、日常生活での情報の利活用について考えさせる問題が中心でした。注目されたプログラミングの問題は、状況設定を理解し目的に応じ繰り返し文と条件分岐文を組み合わせるプログラムを組み立てる力を問う内容が出題されましたが、プログラミングの配点は低く、全体として難易度はそれほど高くなく平均点も高い得点でした。しかし、今年度、高得点だったことから、来年度はプログラミングの配点が変わるかもしれませんので、きちんと対策は立てておきましょう。
- ② **「数学」「地理歴史」「公民」で科目構成が見直されました**。数学では、数Ⅱ・数B・数Cが1科目となった他、時間が60分から70分に延長されました。地理歴史・公民では、大学入試センターが公表した試作問題と同様に、基本的な知識のほか、様々な資料から多面的に考察する力が求められました。歴史総合は、試作問題とは異なり世界史の知識が必要な出題が多く、日本史を中心に学習してきた受験生には取り組みづらかったと思われます。時事的なトピックとしては、政治・経済で「ロシアによるウクライナ侵攻」を扱った文章が出題されました。小論文や面接の対策にもつながってきますので、普段から世の中の動向やニュースに関心を持っておきましょう。
- ③ **国語は、近代以降の文章(現代文)に大問が一題追加され、試験時間が80分から90分に変更されました**。注目された第3問は試作問題Bの形式に類似しており、外来語の使用について複数の資料をもとに考察させる問題でした。受験生の負担増加が懸念されましたが、複数の文章が出題されていた第1問、第2問では一つの文章からの出題に変更されたほか、国語全体で選択肢数を減らす変更もされたため、分量調整の配慮が行われたものと思われます。よって、平均点は大幅に上昇しました。化学に『枕草子』の一節が出題されたことで話題になりましたが、全ての教科において読解力が求められています。普段から長い文章を読む習慣をつけておきましょう。
- ④ **新課程に移行しましたが、旧課程の共通テストの問題作成方針に変更はなく**、「知識・技能を活用し、思考力、判断力、表現力を問う」「各教科・科目の特質に応じた学習の過程を重視する」という基本的な考え方に則った出題でした。この方針を反映した問題の特徴は継続しており、複数の文章・資料や図表などを読み込ませた上で、授業や教科書で学んだ知識を関連づけて多角的に解答を導き出す力が求められています。また、問題の設定として、授業や探究学習において、生徒同士や先生との会話形式の問題や、生徒が作成した課題文やパネルに基づいた考察など、日常生活や社会の事象における「主体的・対話的で深い学び」を踏まえた場面が多く設定されています。

新高校2・3年生の皆さんへ

共通テストでは、単なる知識問題ではなく、知識を活用して運用する力、図表やグラフを分析して読み解く力、長めの文章や多くの資料を時間内に読み込んで正確に理解する力が必要となります。日頃の学習から教科書に出てくるような標準的な知識・項目をしっかりと身に付けることと併せ、考えることを意識しながら学習をする癖、習慣を身に付けておくといいでしょう。受験学年になったら、共通テストはもちろんセンター試験時代を含めた過去問に多く取り組み、限られた時間内に問題を解く練習を積んでおくことが有効な対策になります。まずは、教科書に載っている基本的な知識の習得や解法、公式の使い方などをしっかりと身に付けておいて下さい。ただ、それらの知識や公式・解法などを単に暗記していればすんなり問題が解ける訳ではなく、なぜそうなるのかという本質的な理解の上で、様々な出題に対応できる「知識を活用する力、使いこなす力」が必要です。例えば、知識は、その意味や相互の関係などについて、資料、史料、図、グラフ等も合わせて総合的に理解しておきましょう。

共通テストは、決して難問ではありません。また、難問があったとしてもそれは誰にとっても正解しにくいものです。現時点では、基本問題を確実に解けるようにしておくことが大切です。

国公立大学入試のしくみを知ろう！

Q1 4年制大学の志望者は、共通テストの受験は必須なのですか？

A1 まず、いわゆる「年内入試」の場合、共通テストの受験が必須ではありません。しかし、国公立大学の総合型選抜や学校推薦型選抜の場合、共通テストが合否判定に使用される受験型も少なくありません。また、私立大学でも、一般入試とともに、共通テスト利用型入試があります。よって、4年制大学の志望者は、ほぼ全員が共通テストを受験することになります。

本校では、国公立、私立を問わず、大学・短大の総合型選抜や学校推薦型選抜（指定校を含む）の希望者は、その応募条件の1つとして、「共通テストを必ず受験すること（その大学の一般選抜で課される科目）」を課しています。

Q2 国公立大の一般選抜には、いつ出願するのですか？

A2 日程は、右図の通りで、共通テストの翌日に「自己採点」を行い、結果をベネッセ・駿台予備校や河合塾に依頼し志望大学の合否判定をします。その後、その判定結果とこれまでの模試の成績や各大学の二次試験の科目や配点比などを基に、個人面談を行いながら出願先を検討します。そして、二次試験の前期日程・後期日程・（中期日程）で受験する大学を1校ずつ決定し、全日程を同時に申し出ます。但し、出願後の変更はできません。また、新潟県立大や国際教養大など一部の公立大学では、前・中・後期の日程に属していない「独自日程」を実施していて、他の日程と併願が可能です。

Q3 国公立大の合否は、どのようにして決まるのですか？

A3 一次試験である共通テストの点数と、大学独自の二次試験の点数の合計によって、合否が判定されます。但し、受験科目や配点は、大学・学部によって異なります。一次試験の共通テストは、基本6教科8科目1000点満点ですが、3科目受験や特定科目が傾斜配点になっている大学・学部もあります。また、二次試験の問題は記述式が一般的ですが、受験科目と配点は大学により大きく異なります。出題科目は、理系学部の場合、数学、理科、英語、文系学部の場合、国語、英語、地歴公民が中心です。一般的に、東北大などの難関大では、受験科目数も多く、二次試験の配点比率も大きくなります。また、福島大や県立医科大の看護学部のように、「小論文」や「総合問題（現代文読解、英文読解、データ読解等を含む）」を課す大学も増えています。共通テストが悪くても、二次試験の出来次第では逆転合格することも可能です。ただし、これは二次試験の配点の割合が大きい大学で、かつ、高い学力を有している人に限りますから、なるべく上位の判定が出ている大学に出願するのが基本です。

国公立大学		私立大学 短期大学
分冊・分冊方式	中期日程（公立大学のみ）	
2024年		
7月	～31日 選抜要項（日程・定員・出題科目・時間・配点など）発表	
9月	9月2日～ 大学入学共通テスト 受験案内配付 9月2日～10月7日 大学入学共通テスト 検定料等払込	
10月	9月25日～10月7日 大学入学共通テスト 出願	
11月		
12月	～15日 募集要項発表	
2025年		
1月	18-19日 大学入学共通テスト（本試験） 18-19日（予定） 大学入学共通テスト 正解等の発表 22日（予定） 大学入学共通テスト 平均点等の中間発表 ～24日 学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない場合）結果発表 24日（予定） 大学入学共通テスト 得点調整実施の有無の発表 25-26日 大学入学共通テスト（二次試験・再試験） 27日～2月5日 2次（個別）試験 出願	
2月	6日（予定） 大学入学共通テスト 平均点等の最終発表 ～12日 学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合）・総合型選抜結果発表 ～12日 第1段階選抜の結果発表（前期） ～19日 学校推薦型選抜・総合型選抜合格者の入学手続 25日 前期日程試験 ～28日 第1段階選抜の結果発表（後期） ～18日 第1段階選抜の結果発表	
3月	1日～10日（開校4日～） 合格発表 ～15日 入学手続 12日～ 後期日程試験 20日～24日 合格発表 ～27日 入学手続 8日～ 中期日程試験 20日～24日 合格発表 ～27日 入学手続 28日～ 追加合格者発表 欠員補充第2次募集 出願・試験 ～31日 入学手続（第2次締切）	
4月		大学入学共通テスト 成績の本人開示

※国公立大学の実施日程は、上記日程と一部異なる場合があります。詳細は各大学の募集要項等で確認してください。
※私立大学・短期大学の出願期日・試験日・合格発表日等は各大学で設定されています。
※私立大学の総合型選抜は9月1日以降、年間を通して実施されています。詳細は各大学の募集要項等で確認してください。

（出典：河合塾）

福島大 経済経営学類（前期）の場合

■ 受験科目・配点比の例 () の数は受験科目数
共通：1100点（国200点 地・公(2)200点 数①②200点 理(1)100点 英200点）

*「地・公2科目」と「数2科目」の合計点を比較して高い方を2倍して400点とする。

二次：400点（「小論文」または「英語」の選択 400点）